

・新型コロナウイルスの患者数がさらに増加

中東を中心に流行している新型コロナウイルスの患者数はその後も増加を続けており、3月にはサウジアラビアで3人の患者が確認されました(WHO Global Alert and Response 2013-3-6, 12, 23)。また、英国で今年1月に発病した患者(60歳男性)が3月中旬に死亡しました(Pro MED 2013-3-23)。この結果、3月25日現在までに患者総数は16人になり、このうち10人が死亡しています。患者の発生国はサウジアラビア(9人)、ヨルダン(2人)、カタール(2人)、英国(3人)となっています。

新型コロナウイルスの感染経路はまだ解明されていませんが、中東で発生した患者の多くは発病前に動物と接触したことが明らかになっており、動物からの感染がまず考えられています。また今年2月に英国でおきた集団感染のように、ヒトからヒトに感染したと考えられる事例もあります。こうした状況を受けて、WHOは新型コロナウイルスの新たな調査ガイドラインを発表しました(WHO Global Alert and Response 2013-3-18)。このガイドラインによれば、中東滞在の有無にかかわらず、原因不明の重症呼吸器感染症の患者が発生した場合は、新型コロナウイルスの検査をするように勧告しています。新型コロナウイルスの流行については今後も監視していく必要があります。

・世界各地でのデング熱の流行状況

東南アジアでは3月になりカンボジア、ラオス、シンガポールでデング熱の患者数が増加しています(WHO Western Pacific Region 2013-3-7)。また、タイでは今年の1月から3月中旬までに13000人の患者が確認されましたが、これは昨年同期に比べて4倍の数です。今後、東南アジアは雨期のシーズンを迎え、患者数がさらに増えることが予想されます。

南太平洋のソロモン諸島では、首都のホニアラなどで今年になり約300人のデング熱患者が発生しています(外務省海外安全ホームページ 2013-3-6)。同地域は1月から4月までが雨期で、この季節はデング熱とともにマラリアの流行にも注意が必要です。

南米は雨季を迎えており、各地でデング熱の流行が報告されています。ブラジルでは今年になり20万人以上の患者が発生していますが、これは昨年同期の3倍以上の数になります(European CDC 2013-3-1)。日本では春休みに南米を訪問する観光客が増えますが、滞在先では蚊に刺されないように注意してください。

・カンボジアの鳥インフルエンザは鎮静化

今年1月からカンボジアでは鳥インフルエンザ(H5N1型)の患者が立て続けに発生していましたが、3月は新たな患者が確認されていません。今年のカンボジアでの患者数は9人で、うち8人が死亡しています。WHOの報告によれば、全例がカンボジア南部で発生しており、ほとんどの患者は発病前に病鳥との接触がありました。ヒトからヒトに感染したと疑われる事例はありません(WHO Influenza-Human

animal interface 2013-3-12)。カンボジアなど鳥インフルエンザの流行地域では生きた家禽に接触しないように注意してください。

・中国で男性同性愛者にHIV感染が急増

中国では新規 HIV 感染者に占める男性同性愛者の割合が急増しており、2007 年の 12.2%から 2009 年は 32.5%に倍増しました(病原微生物検出情報 vol134:72-73, 2013)。これは中国の都市部などで男性同性愛者が増加していることによるもので、北京、重慶、成都などでは男性同性愛者の有病率が 10%を超えています。また、この集団で拡大している HIV ウイルスは、欧米や日本などでみられるウイルスとはやや構造の異なる新型の HIV ウイルスで、これが拡大している模様です。この新型の HIV ウイルスは 2009 年頃より日本国内でも少しずつ検出されており、今後、国内でも広がる可能性があります。